



Active stage at HK

～東海南中学校だより～ 令和4年9月号



# 3年生と奏でる最後の音 サマーコンサート



7月17日、海南 nobinos ホールにおいて「Kainan Student Summer Concert 2022」が開催されました。今年もコロナ禍で4月から演奏会がない中でも、日々懸命に練習を重ねてきた音楽部。3学年が揃った演奏会は今回が最初で最後となりました。当日、たくさんの家族の方々に見守られコンサートは開演。3年生は曲紹介やソロで活躍し、大きな拍手を浴びていました。1曲目は「Fly Me To The Moon」。しっとりとしたナンバーが会場を包みました。そして、映画「ミッション・インポッシブル」のテーマで一気に盛り上げ、「名探偵コナンメインテーマ」の前に、怪盗キッドに扮した榎さんと、コナンに扮した岡君（本物そっくり！）による寸劇があり笑いを誘いました。最後の曲の前に、サプライズで1・2年生から3年生5人へのプレゼントがあり、ラストはおなじみの「MOANIN」で締め。と思いきや会場からのアンコール。想定外で戸惑いましたが、まだ練習中の曲「ラナウェイ・ベイビー」を披露し、終演となりました。

私（岩崎）は、中体連の大会運営のため当日は会場に行けませんでした。前日、学校でリハーサルを見ることができました。3年生との最後の練習ということで、リハが終わっても「3年生が好きな曲、もう一曲やろうよ」「最後だよ」という2年生の声に、一緒に一つの音を創ってきた絆と名残惜しさが伝わってきました。





# 新たな目標へ 陸上部近畿大会出場

7月24日、陸上競技の県大会があり、1年生8



00mで口井菜暖さんが1位、共通四種競技で2年生堂山怜香さんが3位に入賞し、近畿大会への出場を決めました。素人目には真夏の競技場で走ることさえ大変なことなのに、二人とも自己新記録を出しての入賞。猛暑の中でも日頃の練習を疎かにせず頑張ってきた賜です。そして、8月7・8日に奈良県の鴻池陸上競技場で開催された近畿大会に挑みました。陸上競技の近畿のレベルは別次元。高いレベルの中で、自分の力がどんなものか試す絶好の機会です。口井さんは中盤まで先頭グループに食らいつきましたが、最後は離され予選通過ならず。しかし、ここでも自己新記録を更新。堂山さんは、100mハードル・走高跳び・砲丸投げ・200mの四種目に挑み、順位は下位ですが総合で自己新記録を更新しました。二人とも近畿の高い壁を味わい、きっと、見える世界が変わり目標のレベルも一段高くなったことでしょう。練習を積み、成長して、また来年もこの舞台で勝負してほしいと期待します。



野球部が春の紀北大会に続いて、夏の県大会でも快進撃です。1回戦、橋本中央に7-0、2回戦は耐

## 「楽しさと悔しさと」野球部県大会3位



久中と3-2の接戦を制し、迎えた準決勝。勝てば近畿大会への出場が決まる大一番です。相手は秋の新人戦、春の県決勝大会で対戦し敗れている日高中。特に春は0-1の惜敗ただけに、三度目の正直でリベンジを誓い決戦に挑みました。日高は投手が素晴らしく、守りも堅い。なかなかつけいる隙がありません。こちらはエースの清水君（写真左）が粘りの投球を見せましたが、残念ながら0-4で敗れました。しかし、堂々の3位です。郡大会から続いた最後の夏。野球部の皆さんは勝ち進んでいく楽しさを存分に味わったことでしょう。先週、「日高中が近畿大会で優勝し全国へ」という知らせがありました。その知らせを聞いた2年生が、

「すごい」ではなく「悔しい」と感想を漏らしたと聞きました。「自分らも全国に行けたかも」という実感を初めて味わった瞬間だったのでしょう。野球部も今回の経験で見える世界が変わり、目標もできたことと思います。新チームがどんな活躍をするのか楽しみです。



## 2学期スタート 引き続きコロナ対策を

22日、2学期がスタートしました。しかし、新型コロナウイルス感染者数は和歌山県で2000人を超え、これまでとは異次元の感染状況です。夏休み中は家庭内感染が主でしたが、学校生活が始まれば学校での感染拡大が心配です。特に、来月に体育祭・修学旅行を控える中、学級閉鎖ともなれば、それらの行事も中止となる可能性もあります。始業式では「危機感を強く持って、感染予防の徹底と、軽々しい行動をせず落ち着いた行動をしてほしい」と訴えました。